

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2026 年 第 24 週（6 月 8 日～6 月 14 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	9 人 類型 患者 3 人、無症状病原体保有者 6 人 血清型 O157 5 人、O168 1 人、不明 3 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 不明
五類感染症 アメーバ赤痢	2 人 病型 腸管アメーバ症 2 人
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人 菌種 <i>Serratia</i> sp.
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 人 血清群 A 群 2 人、G 群 1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
水痘（入院例）	1 人 病型 臨床診断例
梅毒	8 人 病型 早期顕症Ⅰ期 5 人、早期顕症Ⅱ期 1 人、 晩期顕症梅毒 1 人、無症状病原体保有者 1 人
百日咳	13 人 年齢階級 1-4 歳 1 人、5-9 歳 1 人、 10 歳代 1 人、20 歳代 2 人、30 歳代 2 人、 40 歳代 2 人、50 歳代 4 人

＜麻しんの患者情報＞

麻しん（図 1）は第 5 週以降報告が見られていたが、前週に引き続き第 24 週の報告はなかった。2026 年の累計報告数は、麻しん（検査診断例）が 31 人、修飾麻しん（検査診断例）が 9 人の計 40 人である。

（埼玉県感染症情報センター：麻しん及び風しん流行情報（<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/masinn.html#mashinn>））

＜定点把握疾患の患者情報＞ *：遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載

手足口病（1.25→1.65：図 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、春日部（4.67→9.00）、川越市（1.20→3.60）保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、1 歳からの報告が最も多く、全体の約 46%となっている。水痘（0.35→0.81：図 3）の定点当たり報告数は、第 20 週及び第 22 週と同水準にある。咽頭結膜熱（0.75→0.83：図 4）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加した。ヘルパンギーナ（0.25→0.46：図 5）の定点当たり報告数は前週と比較して増加した。保健所別では、熊谷（0.00→2.00）保健所管内で大きく増加した。新型コロナウイルス感染症（0.30→0.39：図 6）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は 1 人（前週 3 人）であった。急性呼吸器感染症（64.70*→64.37：図 7）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 2 人、流行性角結膜炎 15 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 6 人の報告があった。

～令和 8 年度インフルエンザ HA ワクチン製造株の決定について～

インフルエンザ HA ワクチン製造株について、下記のとおり決定されました。

- A 型株 A/スイス/6849/2025 (IVR-278) (H1N1)
A/ミシガン/105/2025 (SAN-049A) (H3N2)
- B 型株 B/東京/EIS13-175/2025 (ビクトリア系統)

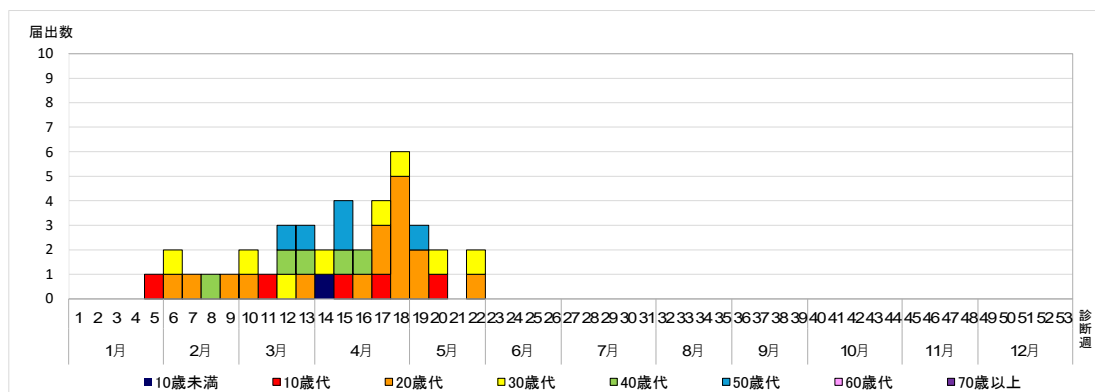
○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構(JIHS) 感染症情報提供サイト(URL: <https://id-info.jihs.go.jp/>)で御覧になれます。

○麻しんについては、JIHS の麻疹 発生動向調査(URL: <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/dwr/diseases/measles/graph/index.html>)で御覧になれます。

○麻しんに関する特定感染症予防指針では、迅速な行政対応を行うためにも臨床診断を行った時点で臨床診断例としての届出を行うとともに、地方衛生研究所にてウイルス遺伝子検査等を実施するために必要な患者検体の提出を求めています。各医療機関において麻しんの臨床診断を行われた際は、検体提出の御協力をお願いします。なお、JIHS のホームページにて「麻しんを疑った際の対応(2026 年 3 月)」(URL: <https://dcc.jihs.go.jp/information/pdf/mashin20260327.pdf>)が掲載されています。参考に御覧ください。

<注目すべき疾患（麻しん）>

図1 麻しんの診断週別年齢階級別報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 手足口病の定点当たり報告数の推移

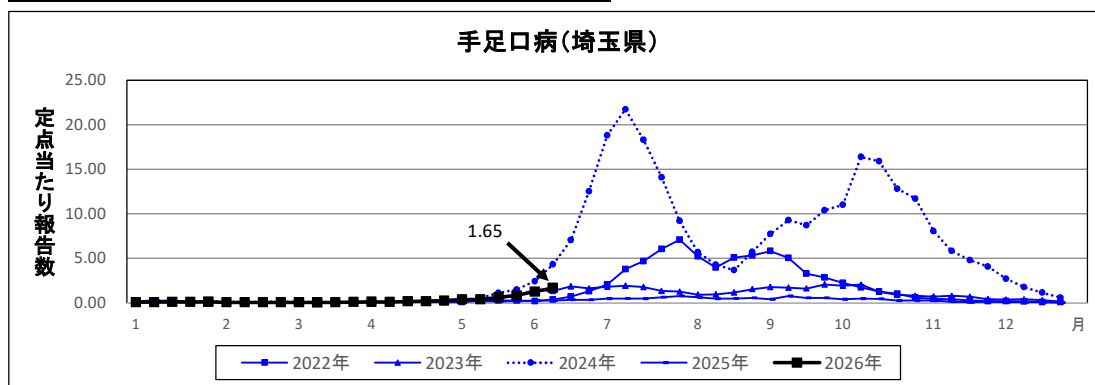


図3 水痘の定点当たり報告数の推移

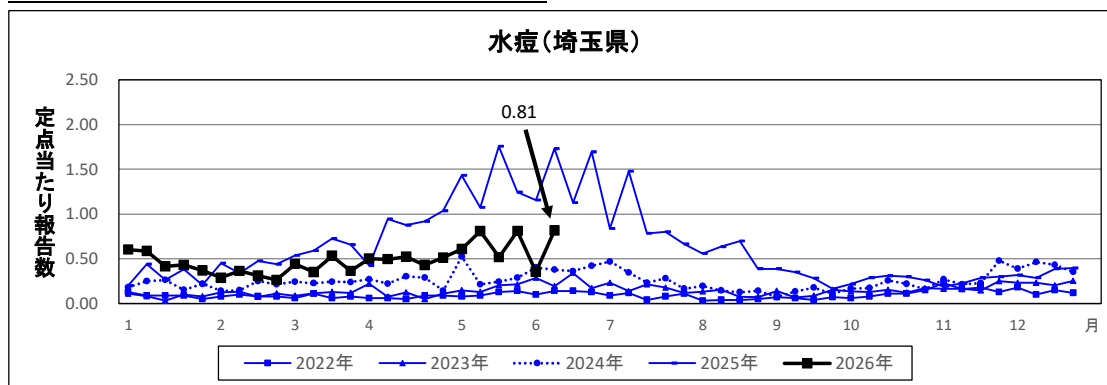


図4 咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移

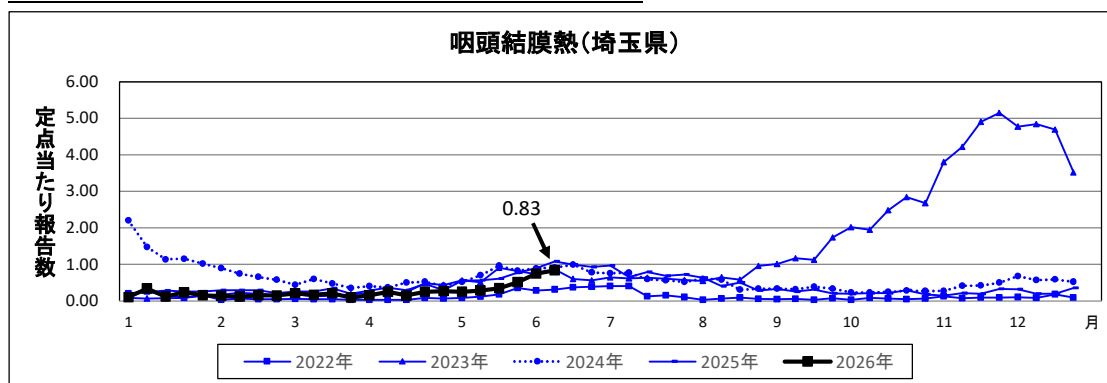


図5 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

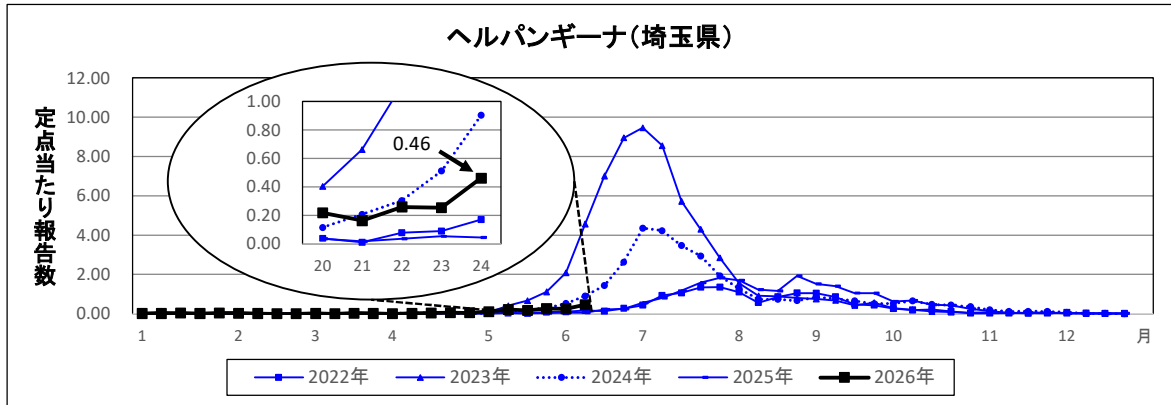


図6 新型コロナウイルスの定点当たり報告数の推移

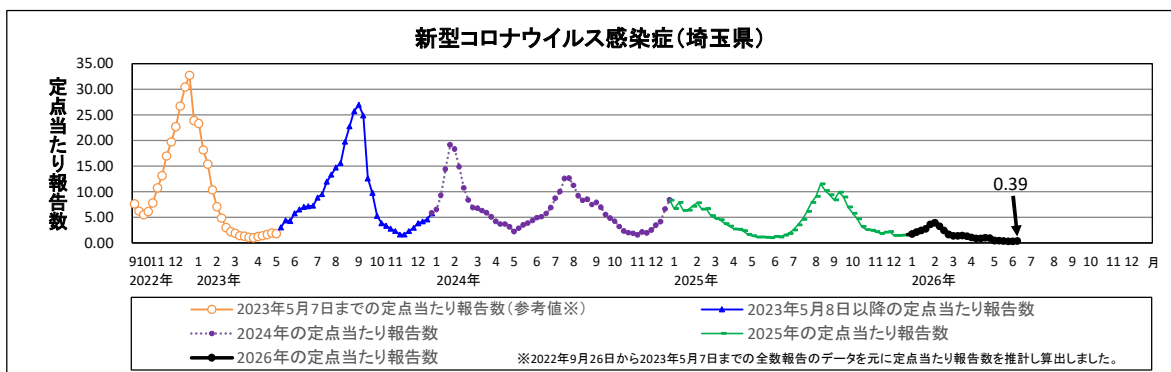
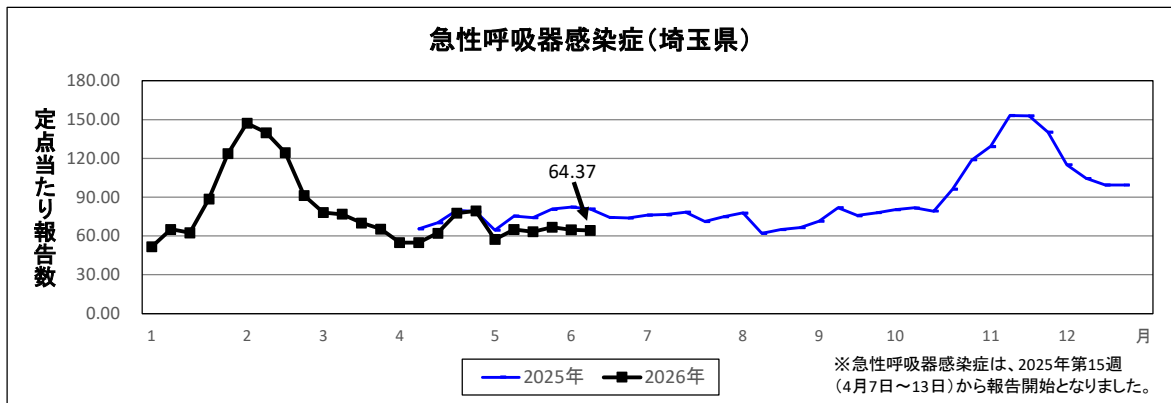


図7 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第24週)

(2026年6月16日 15:30集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	9	63			
四類感染症					
E型肝炎	1	39	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		48
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	2	16	水痘(入院例に限る)	1	8
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		10	先天性風しん症候群		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	17	多剤耐性緑膿菌感染症		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	8	242
急性脳炎		28	播種性クリプトコックス症		2
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		3	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	29	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		17	百日咳	13	249
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		16	麻しん		40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	2	63			

累計は診断週で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2026年5月分)

2026年5月の届出総数は、患者37人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者12人の計50人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数はともに減少した。過去1年と比べると、患者数は同水準で、無症状病原体保有者数は少なかった。推定感染地域は国内23人、国外9人、不明18人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2025年5月～2026年5月)

	2025年*									2026年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計**	1月	2月	3月	4月	5月	累計***
総計	60	68	55	40	48	57	57	51	667	59	52	71	77	50	309
年齢階級															
10歳未満	2	0	0	1	1	0	1	0	14	1	0	0	1	0	2
10歳代	4	0	1	1	0	0	2	2	11	1	1	2	4	0	8
20歳代	7	8	8	6	8	12	9	5	87	9	8	14	18	6	55
30歳代	5	6	5	2	1	5	5	6	48	5	5	3	5	7	25
40歳代	3	6	3	6	4	5	6	1	53	3	5	5	4	5	22
50歳代	5	8	4	4	7	7	5	5	77	10	8	9	7	6	40
60歳代	5	8	10	1	5	2	4	3	61	5	0	4	5	2	16
70歳代	9	14	7	2	9	10	9	10	109	8	6	10	13	6	43
80歳代	13	12	15	12	10	14	12	13	143	14	15	19	15	14	77
90歳以上	7	6	2	5	3	2	4	6	64	3	4	5	5	4	21
性															
男	25	41	33	20	33	29	22	29	379	27	29	44	50	24	174
女	35	27	22	20	15	28	35	22	288	32	23	27	27	26	135
類型															
患者	38	48	38	29	36	37	41	35	439	37	33	46	42	37	195
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	5
無症状病原体保有者	22	20	17	10	12	20	16	16	226	21	18	24	34	12	109
病型															
肺結核	23	27	24	17	24	21	26	22	280	27	16	29	28	28	128
肺結核及びその他の結核	4	5	4	5	2	6	7	2	52	2	6	6	7	3	24
その他の結核	11	16	10	7	10	10	8	11	107	8	11	11	7	6	43
疑似症患者	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	5
無症状病原体保有者	22	20	17	10	12	20	16	16	226	21	18	24	34	12	109
推定感染地域															
国内	35	40	31	18	24	29	34	29	364	31	28	37	45	23	164
国外	4	8	4	6	5	7	8	9	73	10	6	14	13	9	52
不明	21	20	20	16	19	21	15	13	230	18	18	20	19	18	93

* : 2025年の届出数は暫定値

** : 2025年1月から12月までの累積届出数

*** : 2026年1月からの累積届出数

5月に診断された50人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計28人の報告があり、70歳以上が16人で約57%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2026年5月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保 有者	
総計	28	3	6	1	12	50
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	4	0	2	0	0	6
30歳代	2	1	1	0	3	7
40歳代	2	0	0	1	2	5
50歳代	2	0	1	0	3	6
60歳代	2	0	0	0	0	2
70歳代	4	0	1	0	1	6
80歳代	10	0	1	0	3	14
90歳以上	2	2	0	0	0	4

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2026年第24週

6月8日~6月14日)

保健所	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス 感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
全 県	報告数 12 67 定点当たり 0.07 0.39	11,136 64.37	13 90 0.12 0.83	329 622 3.05 5.76	88 178 0.81 1.65	4 51 0.04 0.47	50 10 0.46 0.09	2 15 0.05 0.35	- - -	6 - 0.50 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - 0.08 -	- - -	- - -	- - -	1 - 0.08 -
朝 霞	報告数 1 6 定点当たり 0.06 0.38	891 55.69	- 1 0.10	19 61 1.90 6.10	10 7 1.00 0.70	- 6 0.60	1 1 0.10 0.10	- 3 0.60	- - -	1 - 1.00 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
鴻 巣	報告数 1 4 定点当たり 0.08 0.33	1,367 113.92	- 8 1.14	84 39 12.00 5.57	2 5 0.29 0.71	- 2 0.29	3 1 0.43 0.14	- 2 0.67	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
東 松 山	報告数 - 1 定点当たり - 0.25	347 86.75	- - -	3 25 1.00 8.33	1 1 0.33 -	- 2 0.67	2 2 0.67 -	- 2 2.00	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
秩 父	報告数 - - 定点当たり - -	41 10.25	- 7 2.33	9 3 3.00 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
本 庄	報告数 - - 定点当たり - -	170 42.50	- - -	1 1 0.33 -	3 1 1.00 0.33	- 2 0.67	1 1 0.33 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
熊 谷	報告数 - - 定点当たり - -	511 56.78	2 3 0.40 0.60	15 18 3.00 3.60	6 23 1.20 4.60	- 2 0.40	10 2 2.00 0.40	2 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
加 須	報告数 - 3 定点当たり - 0.60	64 12.80	- 1 0.33	4 4 1.33 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
春 日 部	報告数 6 - 定点当たり 1.00 -	675 112.50	2 6 0.67 2.00	16 41 5.33 13.67	2 27 0.67 9.00	- 2 0.67	2 2 0.67 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
幸 手	報告数 - 17 定点当たり - 1.89	988 109.78	3 10 0.60 2.00	44 43 8.80 8.60	8 3 1.60 0.60	- 1 0.20	1 1 0.20 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
坂 戸	報告数 1 - 定点当たり 0.25 -	285 71.25	- 2 0.67	1 41 13.67	- 1 0.33	- 1 0.33	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
草 加	報告数 - 3 定点当たり - 0.27	497 45.18	1 9 0.14 1.29	16 39 2.29 5.57	6 8 0.86 1.14	- 4 0.57	4 1 0.57 0.14	- 1 0.33	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
狭 山	報告数 2 8 定点当たり 0.15 0.62	608 46.77	1 13 0.10 1.30	21 53 2.10 5.30	15 18 1.50 1.80	3 2 0.30 0.20	7 3 0.70 0.30	3 2 0.40 0.20	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - 1.00 -
南 部	報告数 - 3 定点当たり - 0.75	254 63.50	- 3 1.50	- 1 0.50	- 5 2.50	1 1 0.50 0.50	1 1 0.50 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
川 越 市	報告数 - - 定点当たり - -	706 78.44	2 11 0.40 2.20	18 36 2.00 3.60	9 18 1.80 3.60	- 5 1.00	3 3 0.60 -	- 1 0.50	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
越 谷 市	報告数 - 5 定点当たり - 0.63	539 67.38	- 2 0.40	7 14 1.40 2.80	3 3 0.60 3.60	- 2 0.40	4 4 0.80 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
川 口 市	報告数 - 11 定点当たり - 0.79	873 62.36	- 2 0.25	14 105 1.75 13.13	8 11 1.00 1.38	- 4 0.50	5 5 0.63 -	- 1 0.25	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
さいたま市	報告数 1 6 定点当たり 0.02 0.15	2,320 56.59	2 12 0.08 0.46	57 132 2.19 5.08	17 31 0.65 1.19	- 15 0.58	6 2 0.23 0.08	2 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

6月 16日 15:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2026年第24週

6月8日～6月14日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
インフルエンザ #1	12	-	-	-	-	1	-	1	3	1	1	-	1	-	1	1	-	-	2	-	-		
新型コロナウイルス感染症	67	2	2	3	3	1	5	3	1	5	1	1	13	2	3	7	3	6	-	4	2		
	合計	0歳	1-4	/					5-9	/					10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症	11,136	851	4,755	/					2,292	/					846	327	363	426	373	371	213	183	136
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～								
RSウイルス感染症	13	1	3	2	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-								
咽頭結膜熱	90	1	11	34	14	7	12	6	1	-	2	1	1	-	-								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	329	-	1	7	17	42	33	35	50	34	20	17	42	11	20								
感染性胃腸炎	622	12	63	95	71	63	56	48	26	33	32	28	67	8	20								
水痘	88	2	-	5	1	1	4	4	11	10	12	6	31	1	-								
手足口病	178	-	21	81	43	11	8	7	4	1	1	-	-	-	1								
伝染性紅斑	4	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-								
突発性発しん	51	-	13	29	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
ヘルパンギーナ	50	2	-	23	8	7	4	1	2	1	1	-	1	-	-								
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	1	3	-	2	-	1	1	2	-	-	-								
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～			
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-			
流行性角結膜炎	15	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	2	3	3	2	1	-			
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
マイコプラズマ肺炎	6	-	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
新型コロナウイルス感染症(入院)	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第22週 (5月25日～5月31日)

令和8年6月17日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,744):インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.11)、富山県(0.53)、宮城県(0.22)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は12例と前週と比較して減少した。都道府県別では8都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～9歳(1例)、10代(1例)、40代(1例)、60代(1例)、70代(4例)、80歳以上(3例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.82)、鹿児島県(1.49)、熊本県(1.04)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は107例と前週と比較して減少した。都道府県別では34都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(10例)、1～9歳(27例)、10代(4例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(2例)、50代(9例)、60代(7例)、70代(16例)、80歳以上(30例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,730)定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(71.29)、岩手県(70.24)、宮城県(68.51)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,258):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.50)、長崎県(1.16)、鹿児島県(1.16)、宮崎県(1.07)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.45)、佐賀県(1.33)、京都府(1.13)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(5.67)、鳥取県(5.42)、山形県(5.15)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は石川県(8.71)、奈良県(8.46)、愛媛県(7.95)である。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.22)、京都府(1.11)、山形県(1.00)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(11.32)、宮崎県(7.40)、大分県(6.31)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は新潟県(0.60)、徳島県(0.43)、熊本県(0.38)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(2.08)、鹿児島県(1.52)、熊本県(1.51)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(0.20)、静岡県(0.15)、宮崎県(0.13)、鹿児島県(0.13)である。

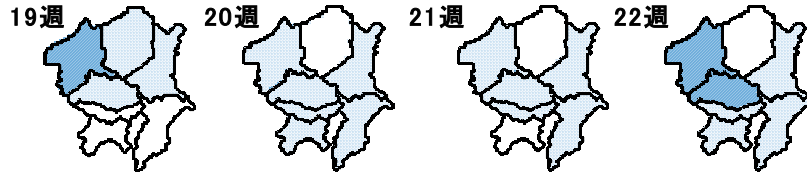
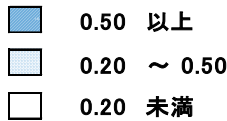
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は京都府(1.00)、香川県(1.00)、島根県(0.88)、茨城県(0.85)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。14都道府県から23例報告があり、年齢群別では0歳(2例)、1～4歳(9例)、5～9歳(7例)、10代(4例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年第22週(5月25日～5月31日):通巻第28巻第22号より

<関東情報>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、群馬県(0.72)、埼玉県(0.51)からの報告が多い。

咽頭結膜熱



		2026年 22週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	261	74	10	3	-	3	8	26	24
	定点当たり	0.07	0.06	0.15	0.06	-	0.02	0.04	0.06	0.10
新型コロナウイルス感染症	報告数	1,361	321	19	5	11	55	128	71	32
	定点当たり	0.36	0.27	0.28	0.11	0.24	0.31	0.71	0.17	0.13
急性呼吸器感染症	報告数	175,999	65,887	3,844	2,922	3,208	11,702	10,013	19,993	14,205
	定点当たり	47.18	56.12	57.37	62.17	71.29	66.87	55.63	47.83	58.70
RSウイルス感染症	報告数	737	165	8	8	3	22	23	52	49
	定点当たり	0.33	0.23	0.22	0.30	0.12	0.20	0.21	0.20	0.34
咽頭結膜熱	報告数	1,264	287	15	4	18	56	32	118	44
	定点当たり	0.56	0.40	0.41	0.15	0.72	0.51	0.29	0.45	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,296	1,913	178	98	95	381	342	499	320
	定点当たり	2.79	2.68	4.81	3.63	3.80	3.46	3.14	1.90	2.24
感染性胃腸炎	報告数	11,610	3,793	167	94	194	671	430	1,565	672
	定点当たり	5.14	5.31	4.51	3.48	7.76	6.10	3.94	5.95	4.70
水痘	報告数	999	320	5	7	17	89	55	84	63
	定点当たり	0.44	0.45	0.14	0.26	0.68	0.81	0.50	0.32	0.44
手足口病	報告数	3,186	602	7	7	21	89	134	225	119
	定点当たり	1.41	0.84	0.19	0.26	0.84	0.81	1.23	0.86	0.83
伝染性紅斑	報告数	187	29	-	1	3	5	4	10	6
	定点当たり	0.08	0.04	-	0.04	0.12	0.05	0.04	0.04	0.04
突発性発しん	報告数	872	262	15	19	12	36	40	79	61
	定点当たり	0.39	0.37	0.41	0.70	0.48	0.33	0.37	0.30	0.43
ヘルパンギーナ	報告数	671	136	4	1	3	29	29	49	21
	定点当たり	0.30	0.19	0.11	0.04	0.12	0.26	0.27	0.19	0.15
流行性耳下腺炎	報告数	114	40	1	2	5	8	8	11	5
	定点当たり	0.05	0.06	0.03	0.07	0.20	0.07	0.07	0.04	0.03
急性出血性結膜炎	報告数	5	1	-	1	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.00	-	0.08	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	318	106	21	9	4	10	13	18	31
	定点当たり	0.46	0.52	1.24	0.75	0.40	0.24	0.38	0.46	0.63
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.08	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	12	2	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	112	17	11	1	-	2	-	2	1
	定点当たり	0.23	0.20	0.85	0.14	-	0.17	-	0.08	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	10	3	-	-	1	-	1	1	-
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	0.11	-	0.11	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	23	3	-	-	-	1	1	1	-
	定点当たり	0.05	0.03	-	-	-	0.08	0.11	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

急性呼吸器感染症におけるインフルエンザウイルス検出状況 (2025年4月～2026年3月)

急性呼吸器感染症（ARI）が五類感染症に加わった2025年4月7日以降、インフルエンザウイルスの検出はARIとして採取された検体から行っています。インフルエンザウイルスの他に、新型コロナウイルス、RSウイルス等様々な呼吸器感染症の原因病原体の検査を実施することにより、ARIの定義^{※1}に合致する症例のうちどれくらいがインフルエンザであるかも推測できます。2025年第15週から2026年第13週までのARIの検査結果は、図1のとおりです。時期によって検出されるウイルスは異なり、10月頃からインフルエンザウイルスの検出が増え始め、流行のピーク時（11月及び2月）には検体の半数近くからインフルエンザウイルスが検出されました。週ごとの詳しい検出状況は、感染症情報センターのホームページに「かぜ様症状の原因ウイルスの流行状況」として掲載しています^{※2}。

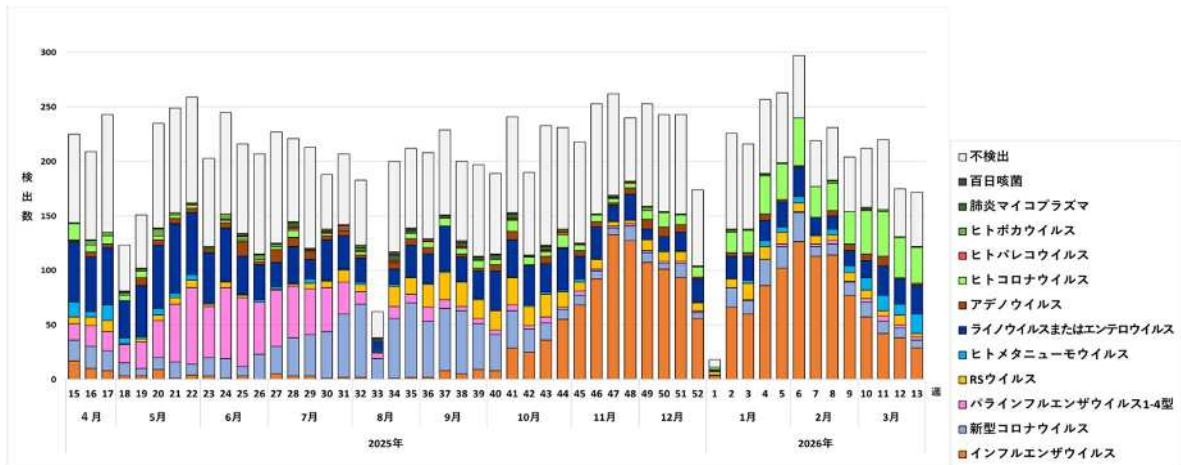


図1 急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランスにおける病原体検出数の推移

2025年9月からのインフルエンザウイルス検出状況を亜型別に示しました（図2）。インフルエンザの定点当たり報告数では二度目の流行のピークがあり、一度目の流行ではAH3が、二度目の流行ではBビクトリア系統が多く検出されました。また一度目の流行のピークとなった11月下旬は、例年よりも早い時期であったことも注目されました。

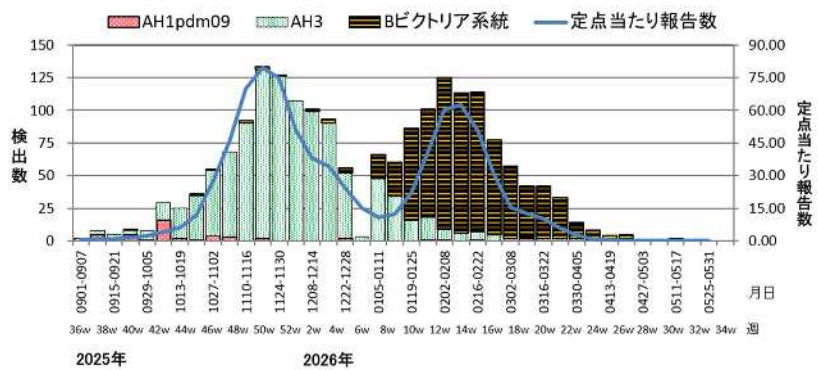


図2 インフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザウイルスの検出状況については感染症情報センターのホームページに最新情報を掲載しています^{※3}。

※1 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例（インフルエンザもこの定義に含まれる）

※2 <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

※3 <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html>

麻しんの発生状況とウイルス検出状況(2026年)

2026年は全国的に麻しんの報告数が多く、埼玉県でも、第24週(6/8-6/14)までに40例が届出されています。これは過去10年間で最も多かった2019年の一年間の届出数を上回る件数

になっています(図1)。病型は麻しん(検査診断例)及び修飾麻しん(検査診断例)で、診断方法は、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出及び血清IgM抗体の検出が9人、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出のみが27人、血清IgM抗体の検出のみが3人、ペア血清での抗体の検出のみが1人でした。

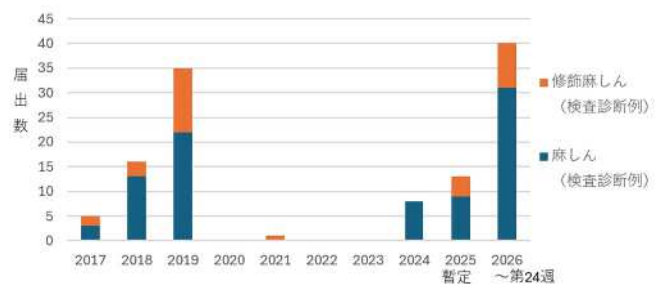


図1 過去10年間の麻しん届出数

年齢別では20歳代が最も多く16人、次いで30歳代が8人で、この年齢層で6割を占めています(図2)。また、10歳代では5人中4人、20歳代では16人中8人に2回のワクチン接種が確認されました(図3)。

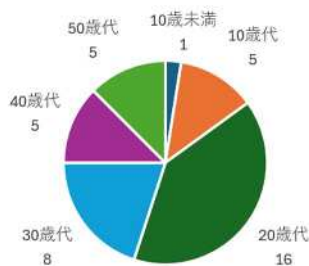


図2 年齢群別麻しん届出数

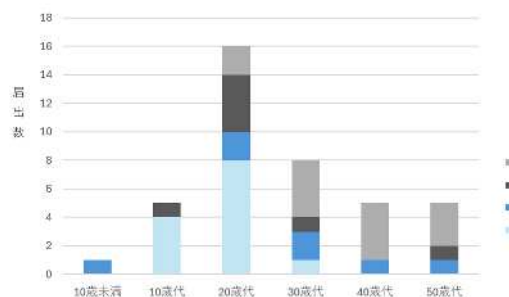


図3 年齢群別ワクチン接種歴別の麻しん届出数

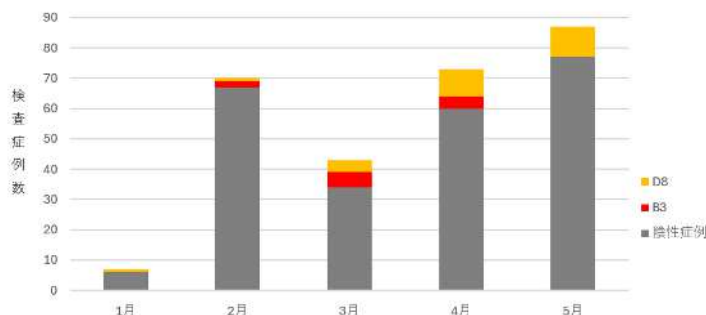


図4 麻しん検査実施状況(2026年)及び検出された遺伝子型
2026年6月15日現在

埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所において実施した麻しん疑い症例の検査実施状況及び検出された麻しんウイルスの遺伝子型は図4のとおりです。検査症例数には、陽性者の接触者であり症状のあった方の検査を含みます。検出された麻しんウイルスの遺伝子型

は、B3が11症例、D8が25症例でした。特に4月及び5月はD8が多く検出されています。

麻しんウイルス遺伝子検査については、「麻しんに関する特定感染症予防指針」により原則として全例に実施することが求められています。医療機関におかれましては、臨床診断をした時点で保健所に届出を行い、保健所の求めに応じ遺伝子検査用検体(咽頭ぬぐい液、血液、尿)の採取にご協力くださいますようお願いいたします。

感染症発生動向調査
2026年

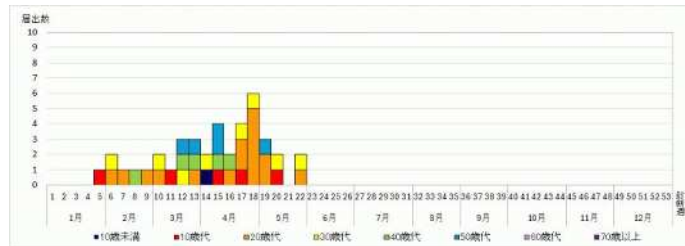
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第23週](#)

感染症の流行状況 2026年 第24週

2026年第24週（6月8日～6月14日）の要点

全数把握対象疾患（麻しん）

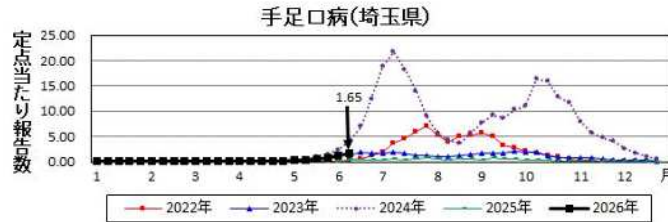
2026年第5週以降、麻しん患者の報告がみられていましたが、前週に引き続き第24週の報告はありませんでした。麻しんを疑う症状（発熱、咳、鼻水、発しん等）がある場合は、必ず医療機関に連絡の上、受診していただくようお願いいたします。



定点把握対象疾患（手足口病）

定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

感染予防のため、[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	→	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	→	★	ヘルパンギーナ	↑	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	↑	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数に変更となりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。